

人権教育を基盤とした生きる力の育成

～保護者が積極的に関わる人権教育の推進

宇部市立小野中学校教護会

1 学校地域の概要

教護会長（PTA会長）：伊藤善行

学校長：武繁鉄之

生徒数：31名

会員数：38名（家庭数27 教職員11）

所在地：〒754-1311

山口県宇部市大字小野8345番地2

TEL 0836-64-2314

FAX 0836-64-2315

E-mail: onj@ube-ygc.ed.jp



(1) 地域の特徴

本校区は宇部市北部に位置し、東西9.5km、南北13.5kmで、小野湖を中心とした高原性の山間地帯に点在する農家集落から成っている。県の新生活運動の先進地であり、また、農業構造改革事業の一環として、茶の栽培生産が行われており、「小野茶」「山口茶」として広く内外に知られている。なお、平成21年3月31日現在で、664世帯・人口1,617人を数える。



校舎から眺めた小野湖

(2) 学校の特徴

生徒数は過疎化の影響を受けて暫減の傾向を示しており、開校当時の1/10程度となっている。校区が広いため、大部分が自転車通学である。なお、平成17年度より、宇部市特認校就学制度により、特色ある特認校として広く宇部市内一円より生徒を受け入れており、本年度は隣接の吉部地区をはじめ4家族5名の生徒が同制度を利用して本校に通学している。

本校は小規模校の利点と豊かな自然環境を生かし、以下のような教育活動を展開している。

**きめ細かな学習指導**～一人ひとりを大事にする学習活動

○少人数によるきめ細かな学習指導

- ・生徒全員が漢字検定に挑戦（毎週1回漢字テストを実施）
- ・テスト前や長期休業中の補充学習・個別指導
- ・実験・実習は生徒全員が体験可能

○コンピュータの活用

- ・総合的な学習・修学旅行・職場体験等の発表の成果をプレゼンテーションソフトで発表

**一人一役**～みんなが主役の学校生活

- 全員参加の部活動、他校より多い試合に出るチャンス
- 生徒会によるあいさつ運動
- 生徒全員で創り上げる学校行事
  - …小中連合運動会、文化祭、縦割り班マッチ、カルタ大会、小野湖周辺マラソン大会



小中連合運動会(生徒創作ダンス) 教護会による文化祭バザー(カレーが名物)

**地域の特色・人材を生かした多様な体験活動**

- 郷土を愛する心を育てる体験学習
  - …茶摘み・製茶実習、紙漉き実習・卒業証書作り
- 自己を見つめ生きる方向を探る学習の推進
  - …職場体験学習、職業講話、保育実習
- 思いやりの心を育てる体験学習の推進
  - …特別養護老人ホーム訪問、JRC活動、グランドゴルフ大会



茶摘み実習



県内唯一の手すき和紙による卒業証書作り

2 PTA(教護会)の概要

(1) 小野中学校「教護会」

本校ではPTA組織を「教職員」の「教」、「保護者」の「護」を取り、小学校ともども「教護会」の名称で活動をしている。

(2) 教護会(PTA)組織

執行部(4名)	常任委員(12名)	専門委員会・学級PTA・地区委員
会長: 1名 副会長: 3名 (男性1名 女性2名)	専門委員長: 4名 副専門委員長: 4名 会 計: 教頭 顧 問: 校長 ( 監 査 ): 2名	専門委員会: 全員がいずれかに所属 学級PTA: 6名(各学年2名) 地区 委員: 生徒在籍地区代表1名

### (3) 専門部の主な活動内容

委 員 会	活 動 内 容	
研修広報	会員の研究研修の企画・実施 ・研修視察 ・講演会 ・学芸的行事への協力 ・会報（湖映）の発行等	
生活・学年指導	生徒の学習・生活指導。補導の推進 ・家庭学習 ・校外指導 ・交通指導 ・休業中の指導 ・地区懇談会 ・地区ふれあい運動等	
環境整備	学校施設及び生徒の厚生福祉の充実 ・環境整備 ・廃品回収（年1回・・・11月） ・奉仕作業((5)・8月) ・文化祭りサイクルバザー等	
保健体育	会員及び生徒の体位・体力・保健衛生の向上推進 ・親睦球技大会 ・小中連合運動会 ・学校保健委員会・諸衛生活動等	

### (4) 特色ある活動について

本校は、小規模校であるため、生徒が学校で学び育っていく上で、学校・家庭・地域の連携は不可欠である。特に、教護会（PTA）活動の推進にあたっては、会員全員の協力は不可欠となっている。最近では、PTA活動に対して消極的な家庭・保護者も増えてきている中、本校では保護者は学校教育に対してできる限りの協力を行っており、さまざまな分野で教護会（PTA）活動に関わっていくことで、生徒の健やかな成長に貢献できるのではないかと考えている。

○年間主要行事における教護会（PTA）の関わり

#### ①教護会（PTA）総会（4月）

年1回の総会は平日午後で開催しているが、参観日及び部活動懇談会とセットにしているため、多くの保護者が参加する。

#### ②人権教育参観日・親睦球技大会（6月）

人権教育参観日は小学校と合同で実施。午後は保健体育委員会主催の親睦球技大会で教職員と保護者が一緒になって球技に取り組んでいる。両行事ともに日曜日に開催するためほとんどの家庭より参加者がある。

#### ③学校保健委員会（7月）

生徒会の保健給食委員会と教護会の保健体育委員会との共催。ここ数年は、AEDの使用法など救急救命法の実技練習をしている。

④親子奉仕作業（8月）

小中学校連合運動会に向け、グラウンドを中心とした学校整備を小中合同で実施。多くの父親が草刈機を持参し、精力的に除草作業に参加するのが大きな特色である。



⑤合同研修視察（9月）

小中学校の研修部が中心となって研修視察を企画実施。大きな柱は人権教育。

⑥小中連合運動会（9月）

保健体育委員会を中心に、来賓接待、教護会種目の実施、懇親会のお世話などほとんどの保護者が関わり、生徒の数が少ない分運動会を盛り上げるべく努力をしている。

⑦人権教育参観日（10月）

中学校単独で、参観授業・講演・学級懇談会を実施している。

⑧文化祭バザー（10月）

ほとんどの保護者が各専門委員会別に昼食バザー、遊休品バザーに関わり、毎年多額の利益を上げている。

⑨廃品回収（11月）

生徒の在籍しない地区が多数あるため保護者は自分の地区の回収だけでなく、他地区の廃品の回収に当たることになり、全員の保護者の協力なしではなしえることのできない行事である。収益金も多く、部活動や教護会活動費に充てている。

⑩交通指導（毎月1日）

校区内2箇所の交通指導を毎月1日の朝に行っているが、生徒数が少ないために全員の保護者が1回は参加することになっている。

⑪その他

本校では男子は卓球部、女子はソフトテニス部しかないが、両部ともに市内大会では優秀な成績を収めている。市街地から地理的に離れているために、さまざまな試合への生徒の送迎はもちろん、試合の応援に積極的に協力をしている。



男子卓球部は市内大会3大会連続優勝

### 3 研究主題について

人権教育を基盤とした生きる力の育成

～保護者が積極的に関わる人権教育の推進

宇部市は市をあげて長年人権教育に力を入れており、本校の属する小野校区においても同和問題をはじめさまざまな人権問題の解決をめざして地域全体で取り組んできた。本校でも昭和47年度には市の同和教育研究校として指定され、以来今日まで学校をあげて人権教育に力を入れている。特に近年では中学校人権作文コンクールにおいては毎年県レベルでの入賞を続け



人権作文県最優秀賞受賞記念看板

ており、本年度は3年生の岸良君が県最優秀賞を受賞するなど、人権教育の成果が着実に表れているところである。

教育において家庭教育あるいは保護者のかかわりが重要なことは言うまでもないが、教育すべての土台ともいえる人権教育においては家庭や保護者の果たす役割は極めて大きいものがある。よって、小野中学校教護会としても、人権教育参観日への積極的な参加と人権教育を柱とした研修視察の2つを軸にこれまでも学校での人権教育の推進に協力してきた。今年度はこれまでの取組を振り返り、マンネリ化に陥らないよう新たな工夫をしていく中で、さらに人権教育を進めていきたいと考えた。

#### 4 活動内容

##### (1) 人権教育参観日への参加

###### ①保護者参観日

小野小・中学校では、9年間を見据えた人権教育指導計画を合同で作成し、系統立てた人権教育の推進に努めている。そして年2回は保護者や地域にも授業を公開し、学校・保護者・地域が連携した人権教育を推進している。

第1回目は6月の日曜日に実施している。小中両方の授業が参観できるように授業公開時間帯がずらされている。授業の後は合同の人権教育講演会が開催される。授業・講演会ともに日曜日ということもあり、また、小中合同ということもあるが、人権教育の大切さを保護者がしっかりと理解しているために、多くの保護者が出席する。講演内容についても保護者の感想は好評なものが多く、家庭でも授業や講演に関する話題が出て、家庭でもしっかりと人権教育が推進されていることが想像される。

第2回目は中学校独自の人権教育参観日を10月に設定している。平日の開催ということで参加者が少ないのは否めないが、授業の後の講演、授業や講演会に基づいた学級懇談会と、少人数を生かした中身の濃い人権教育が展開されている。



1年生の参観授業風景



2回目の講演会の後は講師を囲んでの懇談会

###### ②保護者の感想

###### ○授業について

- ・今ではほとんど耳にしない「ひのえうま」という言葉。正しいことを伝えてやってやりたい。
- ・「結婚について」は難しい内容でした。でも避けて通れないことなので子どもたちも真剣に取り組んでほしいと思いました。
- ・子どもたちは人権についてよく理解していると思います。

###### ○講演会について

- ・間違った会話があった場合、きちんと説明ができ、納得させられる知識を今後

も持ちたい。

- ・いろいろな人権問題に対して、なるべくわかりやすく伝えようと、いろいろな例を挙げて話をされていました。命の尊さの問題にしても、割と最近の話で結構身近な問題だと思いました。家で、子どもたちともう一度話し合ってみたいと思いました。
- ・人権に関する具体的な問題を数多く聞けて参考になったし、考えさせられることも多かった。今までも何度も人権について考えてきたが、今回の話は身近なこととしてとらえられた。

#### ○小中学校人権教育の取組について

- ・今後も小中合同の研修会を行ってほしい。
- ・小野小・中学校では合同で講演会を開いたり、地域の人たちにも門戸を開放して、地域ぐるみで人権教育に取り組むようにされていて、これからも続けてほしいと思います。
- ・毎年のように小・中合同で取り組む姿勢は積極的に感じられ、良いと思います。
- ・学習の基礎・規律が徹底している中での授業でしたが、自分の意見を言うてとてもよかったと思いました。話題について、まず議論し話し合っ解決の方向へ向かえることが大切だと感じ、保護者としても協力していきたい。連携して小中の先生方が交流している姿こそがよい教育になると思います。

#### ③今年度の取組の工夫

執行部が中心となり、保護者同士が声を掛け合い、なるべく多数の保護者に参加してもらえるように努力をした。その結果、6月においてはほとんどの家庭から参加者があった。

#### (2) 人権教育を柱とした研修視察

##### ①小野小中学校研修視察の目的

どこの学校でも会員の研修や相互親睦を図るための研修視察は行われていると思うが、本校の研修の視察実施が他校と異なるのは、人権教育を柱としていることと小中合同で行うということである。

人権教育に関しては、保護者が主体的に研修先を探すということで、保護者も人権教育の推進に関わるということが重要なポイントであると考えている。また、小中合同で行うことで、長いスパンでの研修計画が立てられ、研修先の重複を避け、効率的な研修が実施できるというメリットがあると考えている。

##### ②研修視察の実績

###### ○平成16年度

- ・萩市訪問
- ・障害者の切り絵作家の自宅を訪問し、作品を鑑賞した後、作者の母親の講演を聞く。

###### ○平成17年度

- ・北九州市訪問
- ・「北九州市人権啓発センター」を訪問し、北九州市における人権教育・啓発推進の取組について説明を受ける。



○平成18年度

- ・福岡県春日市訪問
- ・福岡県人権啓発センター「ヒューマン・アルカディア」を訪問し、館内見学の後、福岡県における人権教育・啓発の取組について説明を受ける。



○平成19年度

- ・周南市訪問
- ・周南市大津島にある第二次世界大戦中に開発された「人間魚雷 回天」に関するさまざまなものが展示してある「回天記念館」を訪問。
- ・回天記念館で指導員の方より説明を受けた後、館内を見学。多くの若者の遺書を目にしてあらためて平和の大切さを感じることができた。外に出て、回天の実物を見た後、現在も残されている発射場跡を見学した。



回天記念館



残された遺書



人間魚雷「回天」



「回天」発射場跡

○平成20年度

- ・平生町訪問
- ・人間魚雷回天、平生基地跡の「阿多田交流館」を訪問し、前年に続き、平和の大切さについて学習した。

阿多田交流館に展示されている「回天」⇒



○平成21年度

- ・宇部市・山陽小野田市訪問
  - ・宇部興産本社、山陽小野田市歴史民族資料館、山陽小野田市ガラス未来館訪問
- <本年度の取組の工夫>

- ・人権については幅広い視点からとらえるということで郷土の先人の生き様を探ることから、現在生きる私たちが享受している人権のありがたさを再認識しようということで、宇部興産本社、山陽小野田市歴史・民族資料館、山陽小野田市ガラス未来館の3箇所を訪問することとした。

<成果>

- ・宇部興産では会社説明のみならず宇部市における石炭産業の発展についても学習し、かつて朝鮮人が強制的に労働させられたことについて知ることもできた。
- ・山陽小野田市歴史・民族資料館においては、山陽小野田市の古代からの歴史についてさまざまな展示物を見て人々の暮らしの変遷がよくわかった。
- ・山陽小野田市ガラス未来館では新しい産業であるガラス作りを実習を通して学習し、未来の郷土のあり方や私たちの生き方について考えることができた。



宇部興産本社にて



山陽小野田市歴史民俗資料館



ガラス未来館では絵付けに挑戦

## 5 成果と課題

### (1) 成果

学校の人権教育の推進を教護会（PTA）としてできうる支援を考え実践してきた。小規模校ならではの全員で取り組むという姿勢が会員にもつながり、多くの保護者が人権教育に関心を持ち、学校教育を側面から支えてくれている。そのため、学校教育目標の「他人の心の痛みのわかる生徒の育成」については、学校評価でも十分に達成されているという。これからも家庭でしっかりと人権教育に関心を持ち、保護者が主体的に取り組むことで、人権感覚豊かでかつ次の世代で生きる力を持つ子どもが育成されると信じている。

### (2) 課題

人権教育参観日については2回目が平日のため、参加しづらい保護者もいることから開催日の工夫を学校に提案していきたい。

研修視察については大変好評で毎年多くの参加者がある。研修先も限られることから、これまで訪問してよかったところはメンバーも変わることだし、再度訪問してもよいのではないかという声も会員からは出ている。人権に関して幅広くとらえて、心を豊かにできるもの、人の生き方を考えるものなども考慮して視察先・研修内容を選択することも必要ではないかとも考えている。（教護会長 伊藤善行）